

株式会社インターファクトリー 会社紹介

Inter **Factory**

証券コード：4057

2021年5月

ソフトウェア受託開発の豊富な経験を活かし、大規模EC事業者の成長を支援するクラウドコマースプラットフォーム「ebisumart」の開発および運用保守サービスを提供。

会社名	株式会社インターファクトリー
設立	2003年6月
代表者	代表取締役社長 兼 CEO 蕪木 登
本社所在地	東京都千代田区富士見二丁目10番2号
資本金	390百万円（2021/2末）
事業内容	クラウドコマースプラットフォーム「ebisumart」の開発および保守サービスの提供
セグメント	クラウドコマースプラットフォーム構築事業
売上高/経常利益	1,830百万円 / 162百万円（2020/5期）
総資産	1,416百万円（2021/2末）
従業員数	133名（2021/5末）

企業理念

「関わる従業員、お客様、取引先様の幸せを実現する」



代表取締役社長 兼 CEO

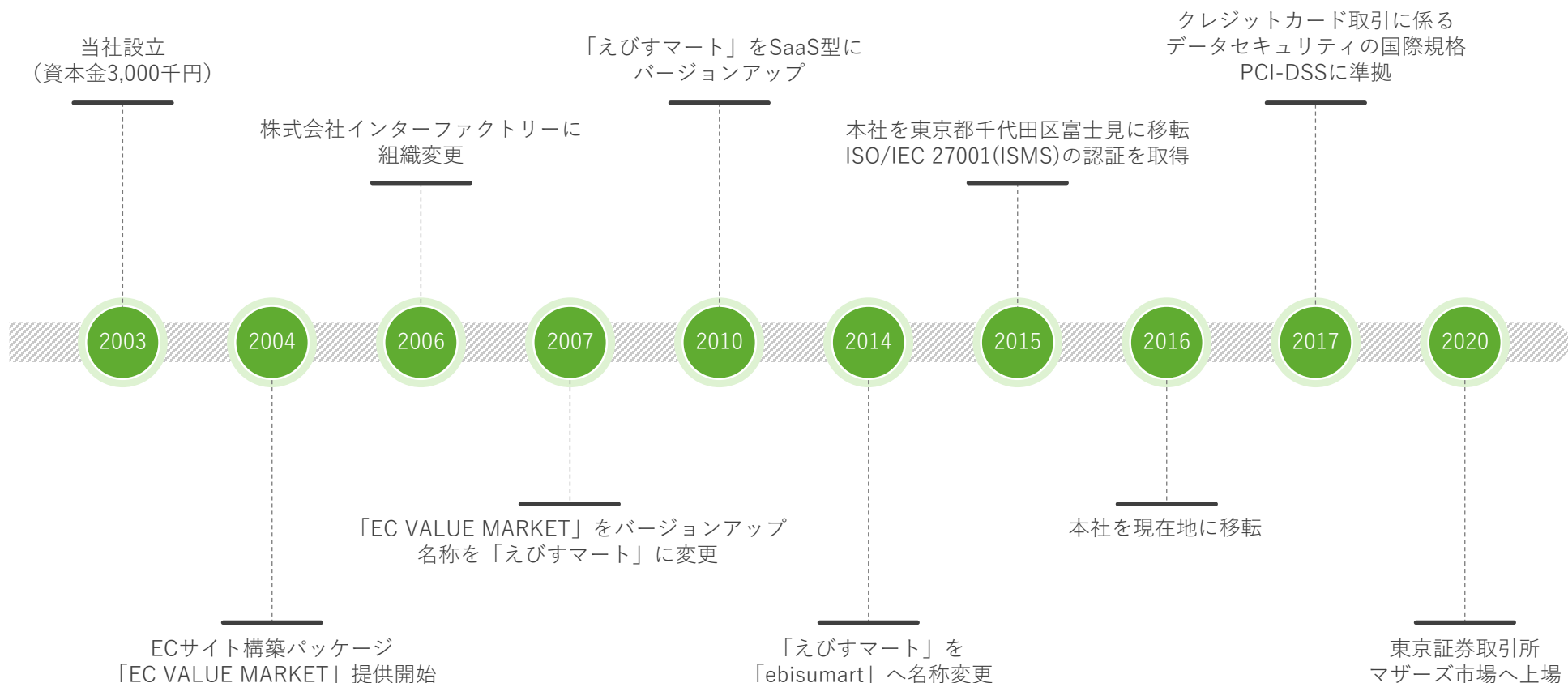
蕪木 登

Kaburaki Noboru

（略歴）

1998年4月 株式会社システムマネジメント入社
2001年1月 株式会社ケーソフト入社
2003年6月 有限会社インターファクトリー設立
2006年7月 株式会社インターファクトリーへ組織変更、
代表取締役就任（現任）

ソフトウェア受託開発を目的に2003年に創業。当初はECパッケージを主力とするも、世界的なクラウドサービスの潮流の中で2010年よりクラウドECに特化したサービスの提供を開始。

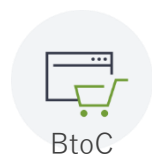


大規模EC事業者を対象としたクラウドコマースプラットフォームとして幅広いソリューションに対応。「拡張性・最新性・安心性」の3つの特長を持ち、フルカスタマイズを可能とすることで、大規模EC事業者のニーズに最適化されたソリューション提供を行う。

ebisumart

業種業界は問わず、大規模EC事業者で一層の国内売上拡大を目指す顧客を対象とした

フルカスタマイズが可能な「クラウドコマースプラットフォーム」



3つの特長

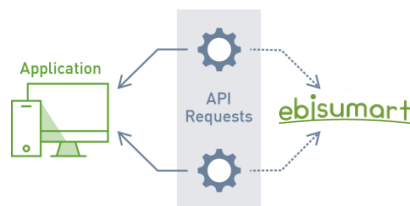
最新性

システム基盤の毎週アップデートにより常に最新のシステムが利用可能

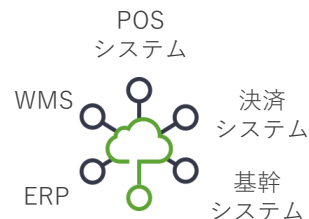


拡張性

API公開によるオープン化
累計公開API数954個



幅広いシステム連携



安心性



年間稼働率99.95%



セキュリティ基準の
継続的な更新

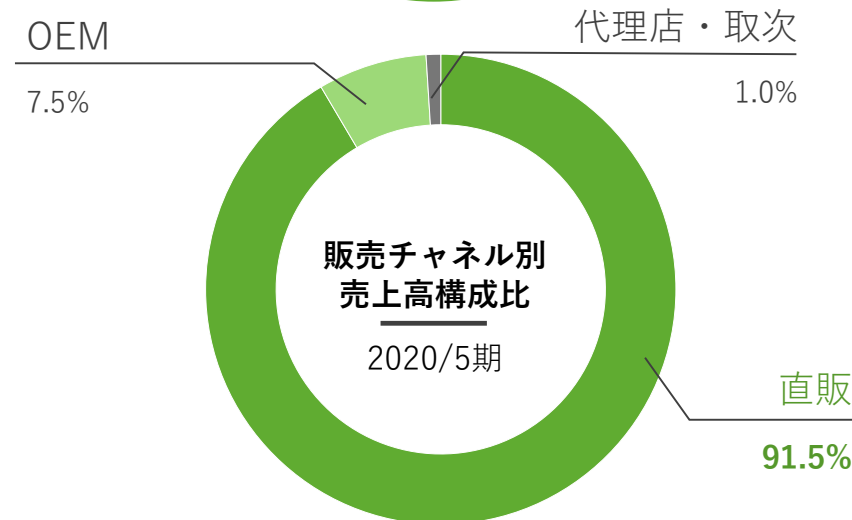
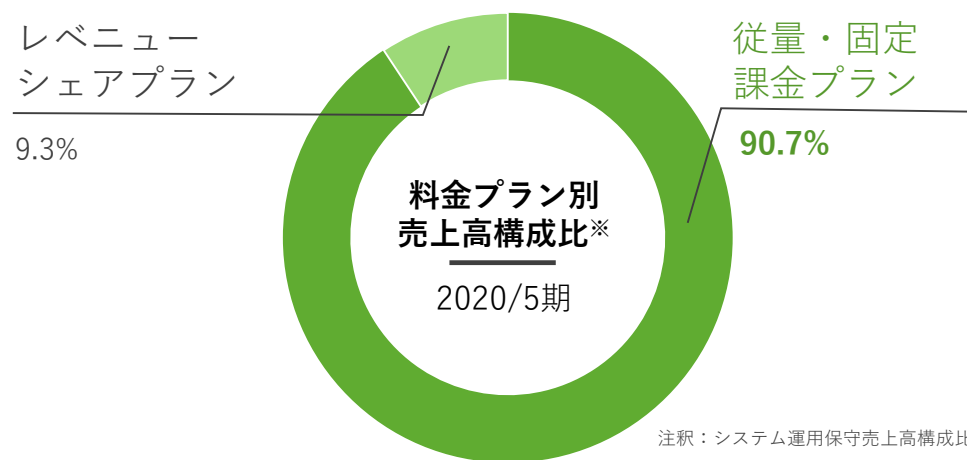


WAFオプションなどによる
強固なセキュリティ

売上高は、導入の初期費用となるシステム受託開発（フロー収益）と月額費用のシステム運用保守（ストック収益）に区分。月額費用では、「従量課金」「固定課金」「レベニユーシェア」の3つの料金プランを設定。また、販売モデルは、顧客ニーズを把握可能なダイレクトセールスを中心にサービスを提供。

売上高区分

システム受託開発	システム運用保守	
初期費用	月額費用	
300万円～	従量課金	基本保守料金 +カスタマイズ保守料 +オプション料金 +PV課金（変動）
300万円～	固定課金	基本保守料金 +カスタマイズ保守料 +オプション料金 +PV課金（固定）
1,000万円～	レベニユー シェア	月額売上の2.5%～



大規模EC事業者を中心に導入累計実績700店舗以上を誇る。
サービス提供先は、「BtoC」「BtoB」問わず、多岐にわたる業種への導入実績がある。

アパレル

- ラルフローレン株式会社
- 株式会社デイトナ・インターナショナル
- GUESS JAPAN合同会社
- ヒットユニオン株式会社
- 株式会社ジョンプル
- 株式会社イケガミ
- 株式会社CA4LA
- 尾上繊維株式会社
- 株式会社メイウッド
- 株式会社ジュニア
- 有限会社ークス
- トムス株式会社

インテリア・雑貨・書籍

- 株式会社パーク・コーポレーション
- 株式会社伊東屋
- 株式会社アイデアインターナショナル
- 株式会社エアウィーヴ
- アンカー・ジャパン株式会社
- 株式会社ジョイフル本田
- エレクトー株式会社
- 株式会社caramo
- 株式会社三省堂
- 株式会社小学館集英社プロダクション

美容・健康・医療

- カシオ計算機株式会社
- 株式会社バスクリン
- 株式会社カズマ

食品・飲料

- クリスピー・クリーム・ドーナツ・ジャパン株式会社
- 株式会社平田牧場
- 株式会社ケイシイシイ
- 株式会社ホリ
- 株式会社北菓楼
- 勝山ネクスステージ株式会社
- 株式会社フィラディス
- 株式会社菊廼舎本店
- 上士幌町役場

エンターテインメント

- 株式会社スクウェア・エニックス
- 株式会社SNKエンタテインメント
- 東京メトロポリタンテレビジョン株式会社
- レノボ・ジャパン合同会社
- 札幌テレビ放送株式会社
- 株式会社ボックス

デジタルコンテンツ

- 株式会社東京証券取引所
- 株式会社ゼンリン
- 西日本電信電話株式会社
- 株式会社NTTデータNJK

アウトドア・スポーツ

- 一般社団法人 日本自動車連盟（JAF）
- 富士スピードウェイ株式会社
- 株式会社タマス
- 株式会社ミカサ
- 株式会社谷沢製作所

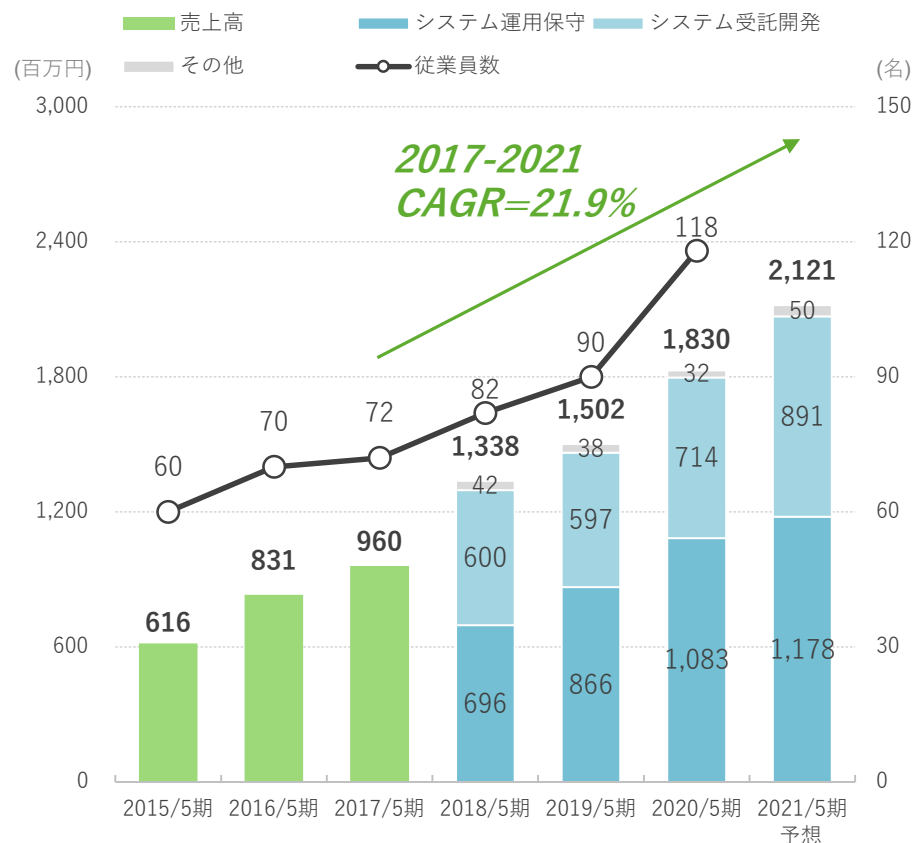
法人向け

- 株式会社MTG
- 第一園芸株式会社
- 株式会社カワダ
- 株式会社ヤマハミュージックジャパン
- 株式会社日東
- 大洋製器工業株式会社

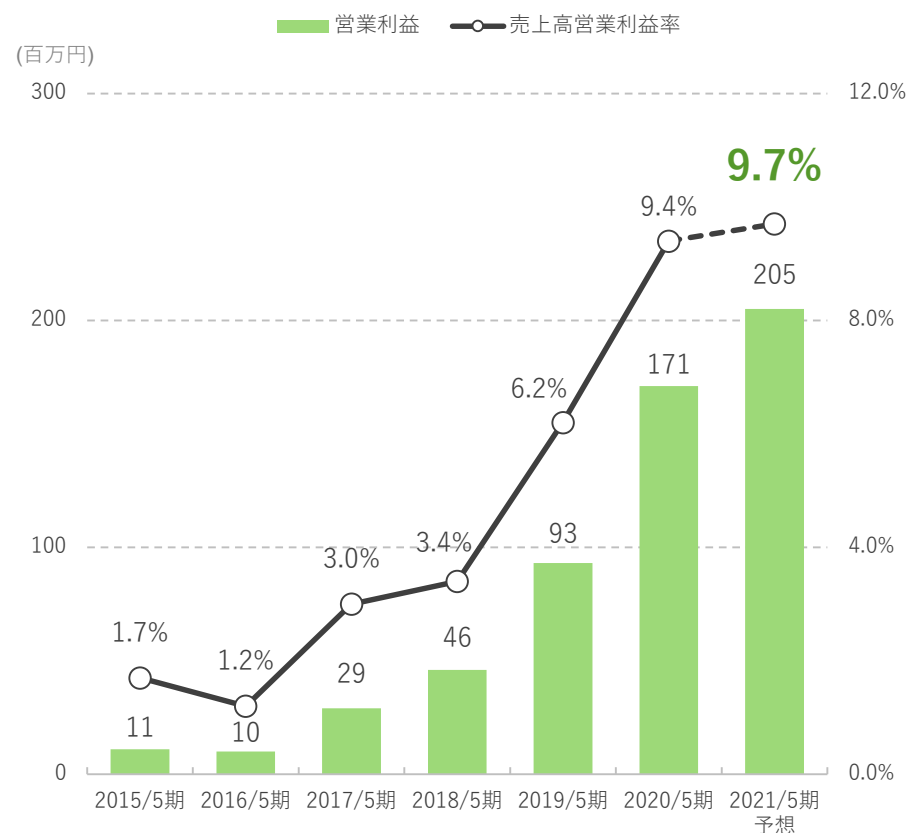
直近5期間の売上高成長率は年平均で21.9%を計画。

プロジェクトマネージャー制への移行およびサブスクリプション売上高構成比の上昇に伴い、
人員の積極採用を進める中でも収益性が改善傾向。

売上高・従業員数の推移

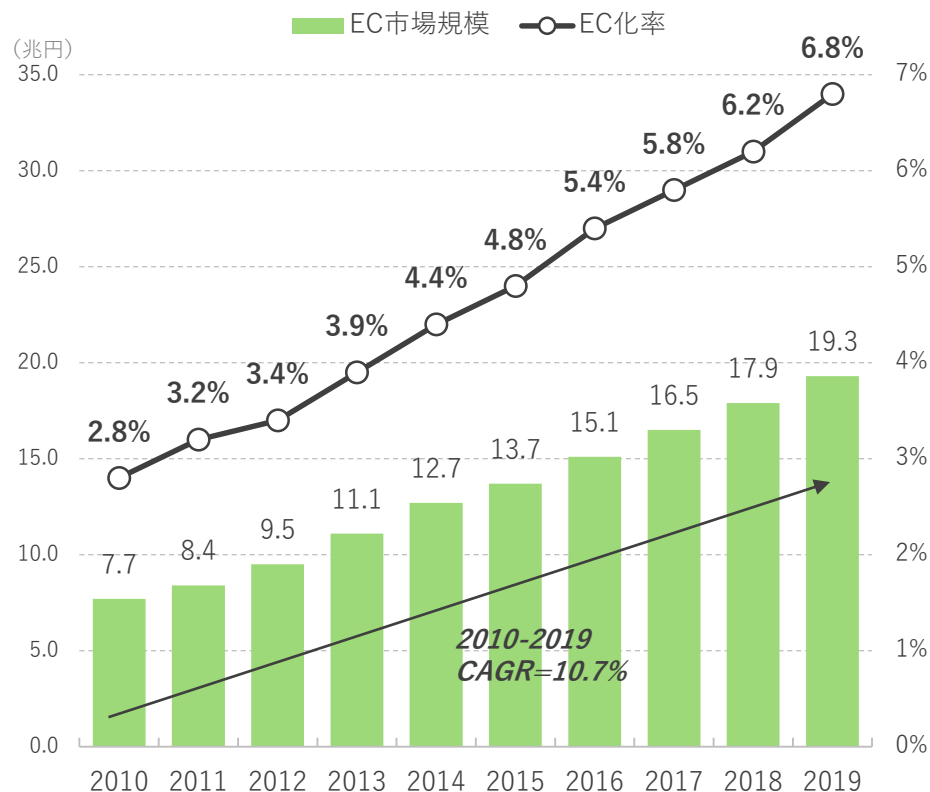


営業利益・売上高営業利益率の推移



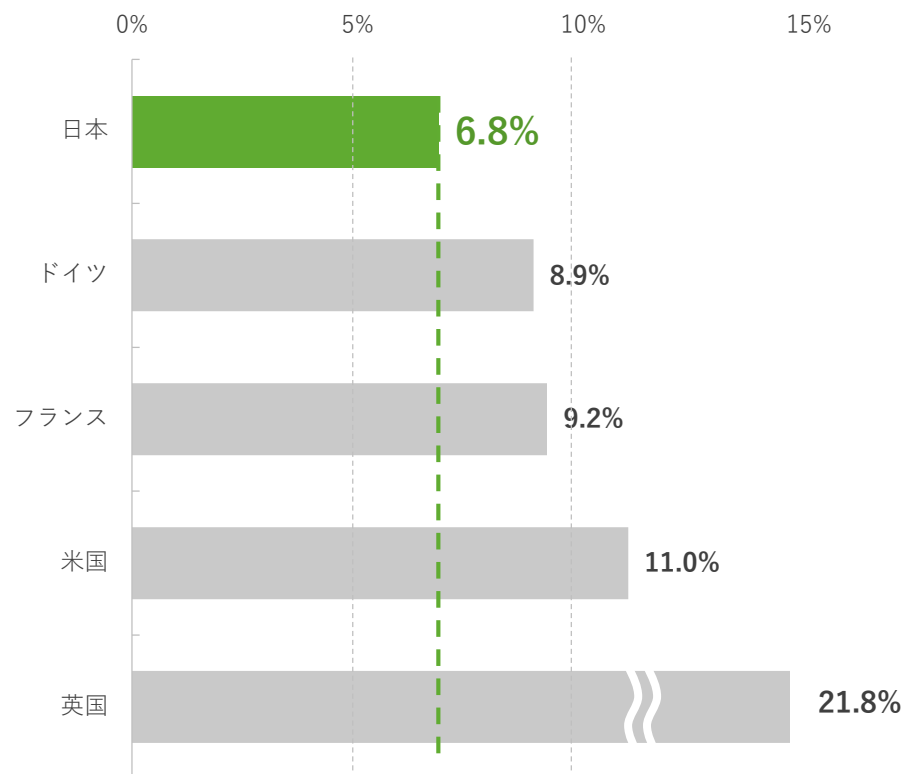
国内「BtoC-EC」市場は、インターネットの普及・利用者の増加に伴い、2桁の高成長。
一方で、リテールビジネスの国内EC化率は世界的に見ても低水準にあり、成長余地が大いに存在。

国内「BtoC-EC」市場規模とEC化率の推移



出所：経済産業省「令和元年度内外一体の経済成長戦略構築にかかる国際経済調査事業（電子商取引に関する市場調査）調査結果概要」

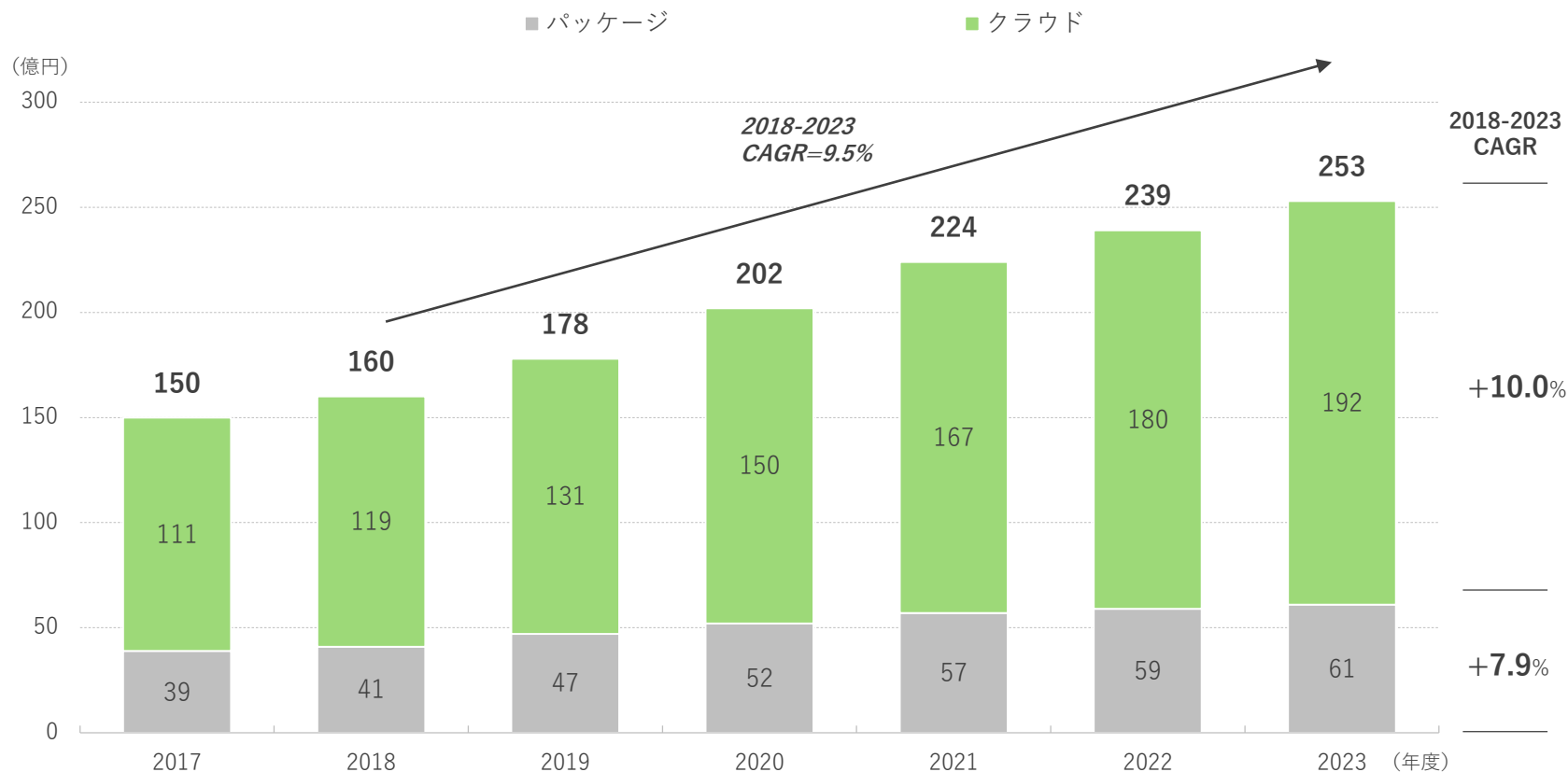
世界のEC化率（BtoC）の比較



出所：e Marketer「(Global Ecommerce 2020) Report Collection」

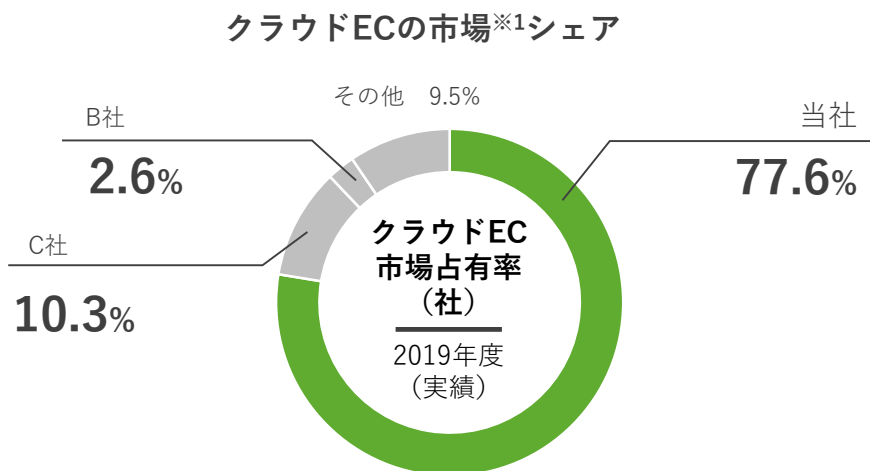
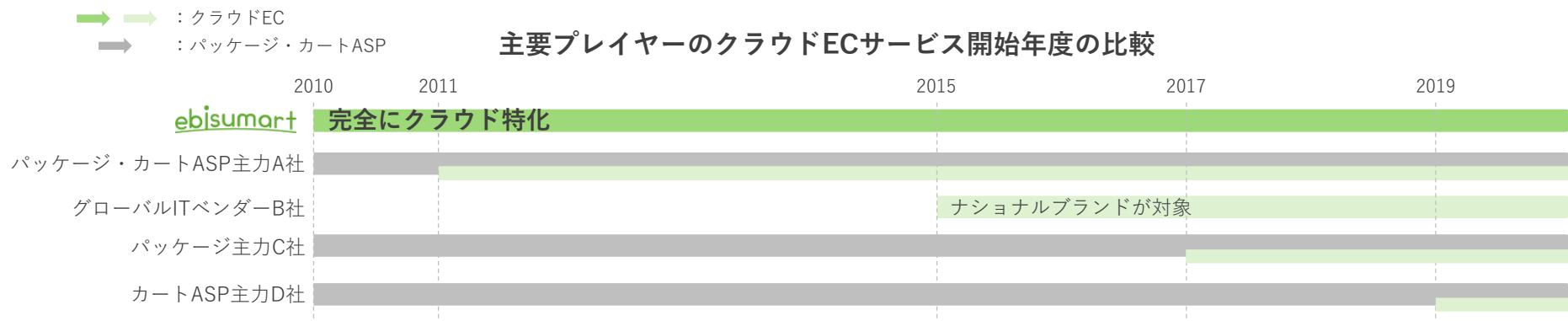
弊社では、EC サイト構築市場は課題であったセキュリティ対応の進展等が認知され、柔軟性・拡張性に富むクラウド（SaaS 型）サービスが市場の成長ドライバーになっていると見ている。

ECサイト構築市場規模の推移と予測（提供形態別）



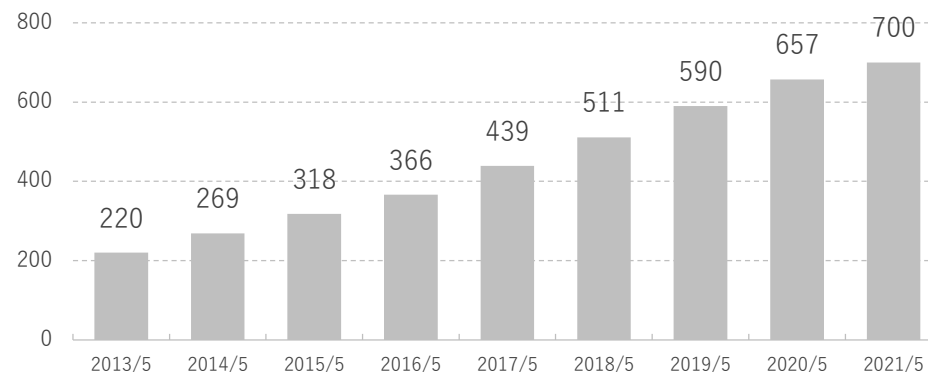
出所：ITR「ITR Market View：ECサイト構築／CMS／SMS送信サービス／電子契約サービス市場2020」※2019年度以降は予測値

大規模EC事業者向けのクラウドEC提供においてパイオニア的存在。クラウドEC市場※¹でトップシェアを獲得し、豊富なサービス提供数を通して標準機能のアップグレードが進捗。



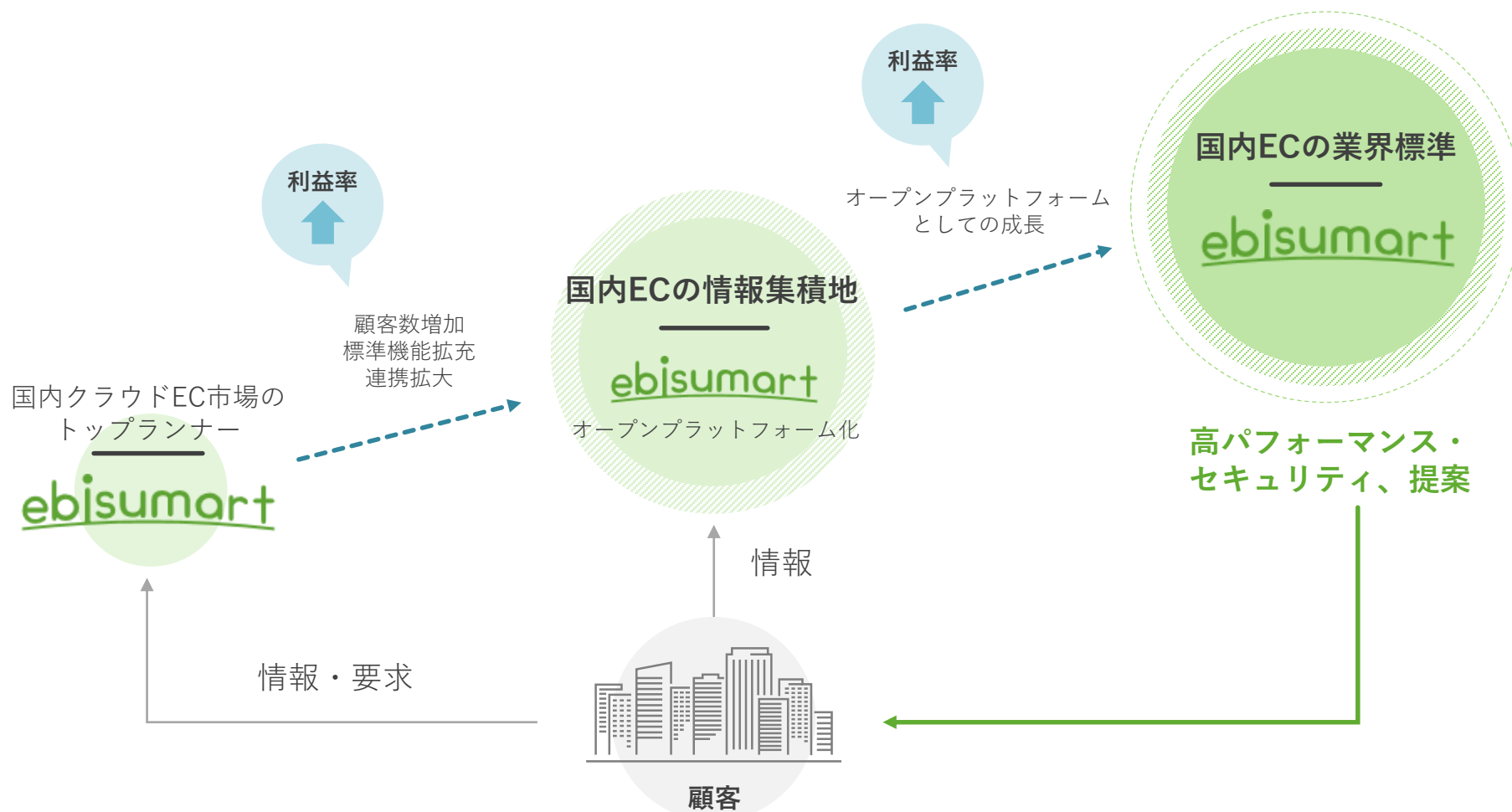
「ebisumart」の累計店舗数の推移


累計700店舗超の提供を通して
標準機能を継続アップグレード



注釈(1) : クラウドEC市場とは、SaaS市場におけるカート型の市場規模を除いたもの
出所 : 富士キメラ総研「ソフトウェアビジネス新市場2020年版～国内の主要パッケージおよびSaaSを徹底調査～」
< ECサイト構築ツール・SaaS (非カート型) >

国内クラウドEC市場のトップランナーとして成長を続け、オープンプラットフォーム化を進めることで、将来的にはエンタープライズ向けクラウドEC市場における「ebisumart」のデファクトスタンダード化を目指す。





将来的には、当社のクラウドコマースプラットフォーム「ebisumart」で蓄積された決済等を始めとした膨大な消費者・EC事業者双方に係るデータの活用を視野に

Inter **Factory**